

教組米沢

2021年 7月 30日
第 2 2 号

米沢市教職員組合

米沢市門東町 2-3-27
米沢教育と文化の会館
TEL (0238) 23-1542
FAX (0238) 23-1560
https://yonezawa-tu.jp/
Mail : ytuandztu@lemon.plala.or.jp

文科省が免許更新制を廃止方針 !?

自民党は「反対」、政治を変えて実現させよう

七月初め、「文科省が教員免許更新制を廃止する方針を固めた」と一斉に報道されました。過重な負担、人手不足、教員採用試験の倍率低下が社会問題化するなか、世論の支持が大きくなり、文科大臣も「事実ではない」と否定しています。やはり政治を変えなければなりません。

免許更新制は 不適格教員排除が目的

そもそも教員免許更新制はなぜ導入されたのでしょうか。

二〇〇六年、安倍第一次内閣は四月に「教育基本法」の改悪案を国会に提出し、さらに十月には中央教育審議会を無視して勝手に「教育再生会議」を立ち上げ、「教員免許更新制」「人事評価」「指導力不足教員」「主幹教諭など新たな職の配置」など、今も学校現場に大きな圧力となっている制度の具体化を進めました。

特に「教員免許更新制」については再生会議の報告で「あらゆる手段を動員して、不適格教員は教壇に立

従わない先生はクビだ



文科省・中教審が抵抗

こうした暴論に文部科学省は抵抗しました(当時の初等中等教育担当審議官は前川喜平氏)。中央教育審議

たせない(第一次報告)として、「教員評価、指導力不足教員認定の厳格化」「教員免許更新時の修了認定を厳格に行う」とし、免許更新時には「保護者・児童生徒の内申」で修了認定を行うとまでされています。

会も、「適格性は現行の分限制度で十分確保できる」として、専門性向上に重点を置く免許更新制度を提言し、更新講習を受ければ原則免許は失効しない制度となり、安倍内閣の「教員の大量排除」の目論見は頓挫しました。

しかし、定年前退職者や教職以外の職についていた教員免許保有者の免許状が大量に失効することになり、現在の人手不足の大きな要因になりました。

山教組の交渉で 県教委の責任を明確化

山教組は免許更新について、県教委の責任において失効者を出さないよう交渉を重ね、実施前から次の二点について県教委の役割を明確にさせました。

①免許の修了期限の管理は、任命権者である県教委が責任を持つて行うこと

②全国の大学などでの更新講習講座を、県内すべての学校に案内すること

この対応は現在も引き続いて行われています。

他県では修了期限の確認は個人の責任とされており、全国でいわゆる「うっかり失効」によって、有能な多くの教員が不本意な退職を

法改正されても間に合わない可能性があります 更新講習の準備を!

●修了確認期限が 2023 年 3 月 31 日の人

生年月日 1957. 4. 2.~1958. 4. 1.
1967. 4. 2.~1968. 4. 1.
1977. 4. 2.~1978. 4. 1.

●修了確認期限が 2024 年 3 月 31 日の人

生年月日 1958. 4. 2.~1959. 4. 1.
1968. 4. 2.~1969. 4. 1.
1978. 4. 2.~1979. 4. 1.

※新免許状(2009. 4. 1.以降に授与された免許状)は、修了期限が免許状に記載されています。
※栄養教諭免許は、他の所持免許によって期限確認が複雑になります。文科省 HP で確認を。

政治を変えなければ 実現しない

余儀なくされていますが、山形県ではそうした先生は、今まで一人も出していません。

文科省が廃止の方針を固めても、実際廃止するには法改正が必要です。さっそく自民党からは「不適格教員排除のために絶対存続だ」という声が高まっており、読売・産経新聞は有識者の声と称して、免許更新は必要だという論陣を張り始めています。いくら世論の大きな支持があるとしても、法改正は楽観できる状

況ではありません。今秋の総選挙が重要な意味を持てきます。

また法改正ができたとしても、ただちに廃止されるわけではありません。(通常法改正から施行までは最低でも一年かかります)特に二〇二三年三月に修了期限を迎える免許の人は今年から講習が始まっていますので、来年から受講する人は準備をしておく必要があります。



誌上意見交換コーナー

長引くコロナ禍で、同僚会も歓迎会も送別会もみんな中止……。組合の集会も学習会もなかなか思うようにできません。でも私たちは、共に子どもたちを育て未来につなげる、生きがいのある教職の仲間です。

せめてこの誌上で情報と意見を交換し、連帯を確かめ合いながら、困難な中でも励まし合っていくために意見を募集します。

みなさん。ぜひご意見をお寄せください。教育の話題だけでなく広く考えていることを交流しましょう。

「声」を出そう！

(小学校教員)

最近、「求人情報」を眺めている時間が多くなりました。憧れて実現した教職について30年。「嫌だ」「面倒くさい」「もういいや」・・・そんな心のつぶやきが多くなって、気付けば何気なく「転職」を考えている自分がいます。

ちょっと冷静になって、今の自分がなぜそんな状況にあるのかを考えてみました。答えは意外にも簡単でした。「余裕がない」。すべて・・・とは言いませんが、余裕がないのです。私は今、仕事上の余裕がない、という段階ですが、そこから始まって、生きることそのものの余裕を失ったとき、いったいどうなってしまうのだろうという不安が過ります。

当たり前のことですが「定時退庁」を声高に叫ぶだけでは仕事量は減りません。「働き方改革」の名のもとに必要な仕事までも「しなくていい」雰囲気になったら、やりがいや喜びを捨ててしまうことになるかもしれません。相手は子どもですから毎日悪いことをするしけんかもします。「コラ、ヤメナサイ！」と指導したら終わり・・・でも最近はその先にある保護者対応がとても苦しい・・・・・・。さらにコロナ禍における多くの気遣いと緊張感・・・・。自分は教師だからがんばらないと・・・でも体が「嫌だ」と言っています。

ではどうする？答えは「人」です。教育には「人」が必要です。「やること」だけ膨大な量に増やされて、「人」が増えない。それでいい教育をしなさい・・・って、できるわけじゃないじゃないですか！配置定数を変える。加配を手厚くする。発達障害・GIGAには専門家の配置が欲しい。そんな声を集めて「実現してほしい」って主張することって大事なんじゃないですか？

皆さん、声を出しましょうよ。困ったら「困った」って言いましょうよ。おかしいことは「おかしいんじゃないの」って言いましょうよ。組合ってそういう場所なんですよ。

物事を見る視点

(小学校教員)

全山形教職員組合定期大会に参加して毎回思うことは

いくつもの視点を持つことの大切さ。

自分の職場だけ、自分の学年だけ、自分の学級だけという視点では、独りよがりな、狭い、偏ったものの見方しかできなくなる。

その結果、相手を思いやることができなくなったり、全体のことを考えることができなくなったり。大切なことをないがしろにして誰かにいいなりにならざるを得なくなってしまう・・・。

本当に大事なものは何だろう。自由な考え、発言すること、表現すること、子どもとふれあって育むこと、かな。

……と、つらつら考えました。

北欧の国のめぐまれた教育環境の話が出されました。半面、税金の高さがあるのも事実だと聞きます。

財源をどうするか、・・・だから政治を動かさないとダメ。それもうなずけます。

全体のバランスを考えること、少し先のどの未来を自分は選びたいのか、一人ひとりが考えることが大事だなと思いました。

毎年、そして常にこうした組織を支えて下さっている役員の皆様、本当にありがとうございます。

